

● 持続可能な公共交通と通学環境について



石垣智史 議員

【議】 令和9年度から始まるフルデマンドバスとスクールバスについて、料金や市民混乗、長期休業中の運行、自転車通学など、将来を見据えた持続可能な公共交通と通学環境について伺う。

【理】 人口減少や高齢化が進む本市では、日常生活における移動手段の確保が課題となっている。スクールバスは通学を最優先としつつ、地域の交通手段として有効活用する考えに基づき、一般市民も無料で利用できる仕組みとする。フルデマンドバスは、利用者の予約に応じて運行し、目的地までの移動を柔軟に提供するもので、高齢者をはじめ全ての市民の社会参加や交流を促進するものである。このため、市内のどこに行っても定額の負担とし、公平で分かりやすく、利用しやすい料金体系になるものと考えている。

市民の混乗を見込んだ各路線のスクールバスの計画は、福井勝山総合病院でのバス乗降状況の調査結果を踏まえて策定している。運行後は利用者の動向に注視し、利用に支障が生じないよう適宜対応する。また、市の公共交通体系が大きく変わるため、市民に理解いただけるよう、周知のあり方について検討を進めていく。

夏休みなどの長期休業期間中の平日は、フルデマンドバスを午前8時から午後5時までを基本として運行する予定である。

勝山中学校の自転車通学は、勝山高校周辺で車、自転車、徒歩の生徒が増加し、特に登校時の危険性が高まる恐れがあることや、スクールバスで1.5km以上の通学をカバーすることなどから、原則禁止とする。



● シティプロモーションについて
● 勝山市の防災関係について

その他の質問
・福祉政策について



松山信裕 議員

【議】 シビックプライドとは「都市に対する市民の誇りや愛着」「まちをより良くするために、自分自身が関わる」当事者意識に基づく自負心である。勝山中学校において地域との連携やふろさと学習などを通じてシビックプライドを育む教育をどのように展開していくのか。また、勝山市の認知度を高め、交流人口の増加を図り、地域経済の活性化を目指すシティプロモーション活動、MICE（※1）の誘致を展開すべき。併せて、恐竜MICE推進戦略を策定してはどうか。

【理】 勝山中学校では、これまで各中学校で取り組んできた地域の自然や歴史、文化、産業などを学ぶESDを継続・発展させ、探究的な学びや地域と連携したライフデザイン教育を組み合わせさせてシビックプライドの醸成につなげていく。MICE誘致については、県の中部縦貫自動車道開通スタートアップ事業やコンベンション開催助成金等を活用し、積極的なPRを展開する。恐竜MICEについても、恐竜溪谷ふくい勝山推進協議会の連携を生かし、市内事業者と連携しながら、交流人口の拡大と地域経済への波及効果の創出に取り組む。

【議】 地域の防災力アップのための有効な手段として、災害図上訓練、クロスロード、DIG、HUG、シェイクアウト（※2）を活用すべき。

【理】 防災では、10月の市民総合大学でHUGを取り入れた訓練を実施する予定であり、各地区や自主防災組織にもDIGやHUGの導入を積極的に働きかける。小中学校の防災出前講座にも図上訓練を取り入れ、シェイクアウト訓練も今後機会を設けて実施していきたい。



シェイクアウト
訓練で提唱する
3つの安全行動

※1 MICE：たくさんの集客や交流が見込まれるビジネスイベントを総称した呼び方。
※2 クロスロード、DIG、HUG、シェイクアウト：ゲーム感覚や簡単な手順を取り入れ、主体的に参加できる防災訓練・防災教育の手法。